

平成29年度

若年性認知症居場所(仕事の場)づくり支援事業

法人・事業所名 : 特定非営利活動法人 WAC清水さわやかサービス

○事業概要

利用者の状況(人数・状況等の推移)

実利用人数 2人
(一日当たりの利用人数 1～2人)

開催日時・実施場所

日時：AM10：00～PM2：00
場所：自事業所
洗車作業：週2回程度AM10：30～12時頃
当法人の駐車場又は依頼のある法人の駐車場
媒体紙配布：月2回隔週水曜日AM10：30～12：00
法人近隣に100部配布

職員体制

認知症ケア専門士1名 介護福祉士1名・無資格者1名
介護専門学校に通学中の学生
洗車・媒体紙配布ともほぼスタッフとマンツーマン体制で行う。

周知・連携機関

病院(認知症疾患センター、隣接する葵区駿河区含め)8か所
居宅介護支援事業所 清水区を中心に25か所
産業医のいる法人、心療内科、ものわすれ外来等(27か所)
にDMを送付する。
各種新聞に掲載、静岡市の地域包括支援センター、法人会、お寺等にも置いてもらう。

○仕事の内容

- ・洗車・・・軽自動車1台300円、普通車400円、室内100円
午前中洗車(外)を2台で2時間位かかる。職員は見守りでつく。
- ・媒体紙配布・・・1部4円チラシ1枚追加毎1円
午前中新聞を取りに行き、事務所で新聞にチラシを挟む作業を行う。
その後10：30過ぎから1時間ほどかけて100部をスタッフと配布する。

○成果や課題

- ・(作業内容にもよるが)出来ることを仕事という形で行う。利用者が生き生きと熱心に取り組む様子を見て、私たちも嬉しく思えた。
- ・送迎に来た家族とお茶を飲むことでコミュニケーションが取れ、またアセスメントも深く生活背景を探ることができた。
- ・認知症が進行していても、活動謝礼金を受け取ることで利用者の意識をより前向きに、責任感を持ち取り組む姿は、こちらも勇気をもらった。
- ・事業を継続していく上で若年性認知症は絶対数が少なく、介護保険事業として運営していくには実施する人数の確保、PR方法が課題となる。

